

## 【表紙】

【提出書類】	半期報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年10月20日
【中間会計期間】	第142期中（自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日）
【会社名】	松竹株式会社
【英訳名】	Shochiku Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 迫本 淳一
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地四丁目1番1号
【電話番号】	03(5550)1516
【事務連絡者氏名】	経理・財務担当取締役 油谷 昇
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区築地四丁目1番1号
【電話番号】	03(5550)1516
【事務連絡者氏名】	経理・財務担当取締役 油谷 昇
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪府中央区北浜一丁目8番16号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号） 証券会員制法人札幌証券取引所 （札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1）

## 1【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成19年11月29日に提出いたしました第142期中（自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日）の半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 中間連結財務諸表等

(1) 中間連結財務諸表

中間連結損益計算書

表示方法の変更

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第5【経理の状況】

1【中間連結財務諸表等】

(1)【中間連結財務諸表】

【中間連結損益計算書】

(訂正前)

区分	注記 番号	前中間連結会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年8月31日)		当中間連結会計期間 (自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
営業外費用							
1. 支払利息		351,900		519,152		871,521	
2. 貸倒引当金繰入額		-		-		91,006	
3. 株式交付費償却		8,641		11,115		18,534	
4. 雑支出		363,166	723,708	219,154	749,423	838,184	1,819,247
経常利益又は経常 損失( )			1,653,080		1,271,445		1,279,724

(訂正後)

区分	注記 番号	前中間連結会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年8月31日)		当中間連結会計期間 (自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
営業外費用							
1. 支払利息		351,900		519,152		871,521	
2. 貸倒引当金繰入額		-		-		91,006	
3. 借入手数料		-		102,213		-	
4. 株式交付費償却		8,641		11,115		18,534	
5. 雑支出		363,166	723,708	116,941	749,423	838,184	1,819,247
経常利益又は経常 損失( )			1,653,080		1,271,445		1,279,724

表示方法の変更

(訂正前)

<p>前中間連結会計期間 (自 平成18年 3月 1日 至 平成18年 8月31日)</p>	<p>当中間連結会計期間 (自 平成19年 3月 1日 至 平成19年 8月31日)</p>
	<p>(中間損益計算書)</p> <p>1. 不動産賃貸収入の増加及び今後の不動産賃貸事業の拡大が予想されることから、前連結会計年度まで売上高の「その他の事業収入」に含めておりました「不動産収入」を当中間連結会計期間より区分掲記しております。なお、前中間連結会計期間の「不動産収入」は3,084,517千円であります。</p> <p>また、前連結会計年度まで不動産賃貸収入に対応する費用を販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、売上との対応をより明確にするため、当中間連結会計期間より売上原価の「不動産原価」に計上する方法に変更しております。なお、前中間連結会計期間の「不動産原価」は1,984,774千円であります。</p> <p>2. 前中間連結会計期間において、「連結調整勘定償却額」として掲記されていたものは、営業外収益の総額の100分の10以下であるため、当中間連結会計期間から営業外収益の「雑収入」に含めて表示しております。</p> <p>なお、当中間連結会計期間の償却額は29,074千円であります。</p>

(訂正後)

前中間連結会計期間 (自 平成18年 3月 1日 至 平成18年 8月31日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年 3月 1日 至 平成19年 8月31日)
	<p>(中間損益計算書)</p> <p>1. 不動産賃貸収入の増加及び今後の不動産賃貸事業の拡大が予想されることから、前連結会計年度まで売上高の「その他の事業収入」に含めておりました「不動産収入」を当中間連結会計期間より区分掲記しております。なお、前中間連結会計期間の「不動産収入」は3,084,517千円であります。また、前連結会計年度まで不動産賃貸収入に対応する費用を販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、売上との対応をより明確にするため、当中間連結会計期間より売上原価の「不動産原価」に計上する方法に変更しております。なお、前中間連結会計期間の「不動産原価」は1,984,774千円であります。</p> <p>2. 前中間連結会計期間において、「連結調整勘定償却額」として掲記されていたものは、営業外収益の総額の100分の10以下であるため、当中間連結会計期間から営業外収益の「雑収入」に含めて表示しております。</p> <p>なお、当中間連結会計期間の償却額は29,074千円であります。</p> <p>3. <u>前中間連結会計期間まで営業外費用の「雑支出」に含めておりました「借入手数料」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため区分掲記いたしました。</u></p> <p><u>なお、前中間連結会計期間の「借入手数料」は6,198千円であります。</u></p>